

●6月定例会一般質問(平成25年6月14日)

質問

減災・防災対策について、避難所の見直し結果はどうか。

答弁

命を守る避難所は、災害の種類ごとに安全な施設になるよう選定基準を見直し、滞在型避難所と緊急避難所に区分した。介護サービスなどを福祉避難所として対応する事を考えている

質問

ハード面における防災安全交付金の活用はどうか。

答弁

道路の安全確保や学校の耐震化、下水道事業などに活用している。約11億5000万円の交付内示を受けている。

その他、①マイナンバー制度について質問

質問

中小企業対策について、で売れるものづくり、しくみづくり支援事業の現状と成果は。小規模企業枠の採択状況はどうか。

答弁

ものづくり支援事業は、申請10件に対して6件の採択。そのうち4件が小規模枠。しくみづくり支援事業は、申請8件全て採択。うち6件が小規模枠。成長を後押しする支援成果が出ている。

●9月定例会一般質問(平成25年9月6日)①防災力の向上について②学校の耐震化についてを質問

質問

いつどこでゲリラ豪雨に襲われるかわからない中、特別警報を市としてどう活用するのか伺う。

答弁

特別警報が発令された場合、防災無線システムやメール配信、ホームページなどを通じて速やかに周知する。市の配備体制にも活用して行く事を検討している。



三条市内を視察する平木大作参議院議員(右)と野崎市議(左)

「お知らせ」 モバイル向け野崎正志の

メールマガジン登録QRコード



のざき正志のホームページからも登録できます

●中小企業支援を約束

企業を助ける経営コンサルタントとして活動してきた平木大作氏は夏の参院選で初当選。「景気が良くなった」と実感してもらえる。結果を届けるのが自分の仕事と決め各地を回っている。7月26日には、三条市内の中小企業を視察した。景気回復のカギは中小企業をどうもり立てるかだ。とし中小企業支援に全力で取り組む事を約束した。